

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2023年4月4日

事業ID:2022001560

事業名:渚の交番運営事業(岡山・真庭・2年目)

団体名:(一社)北房観光協会

代表者名:代表理事 石井秀明 印

TEL:0866-52-3009

事業完了日:2023年3月31日

■契約時

事業費総額	:	9,630,000 円
自己負担額	:	1,930,000 円
助成金額	:	7,700,000 円

■箇所は【フォーム】収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	9,862,292 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	2,162,292 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	7,700,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1 環境学習 源流である鍾乳洞から備中川～旭川を通じて、瀬戸内海の備前市日生の海まで水が流れつながる様子や源流からの栄養やゴミが、瀬戸内海の家産物や自然に与える影響を日本一のホテルの動画を交えた立体映像を觀賞いただきながらホテル保護活動を通じた水の保護など講師による話を聞く(約60分)
団体予約が入っていない時には、鍾乳洞から海につながる環境保護啓発立体映像やホテルが乱舞する立体映像(約20分尺)をシアターとして上映一般の映像觀賞入場料は、税込み大人200円小人100円とします。
2 自然体験 施設内での1 環境学習の行程のあと実際に施設のそばにある備中川の自然の様子を見ながら水とホテルのクイズを楽しんでいただきながらホテル公園まで歩いていただきます。(約60分)
3 食の体験 備前市日生産の蛸殻を真庭市の田んぼに撒いて作った米、里海米をベースに日生産の家産物を真庭市北房産の野菜を参加者に自らミニ釜に入れていただき炊き込みご飯を作ってください。合わせて北房産の食材で作った惣菜と一緒に食べていただきます。里山から里海の環境や循環について講和しながら実施します。(約60分)
以上1～3を基本プログラムとして参加団体などの希望に合わせて合わせます。参加者からアンケートを募り、常にプログラム内容のブラッシュアップをはかります。



(2)事業完了時の事業内容(実績)

契約書記載の事業内容1～3の事業、有料プログラムの実施について2021年6月の開所から2022年3月までの間、計画通りの内容で常時、実施することができた。
目標は1,200人であったが、コロナ禍の影響などもあったが施設への入場者、参加者数
団体系験学習参加者小計1,604人
一般入場者小計4,983人 合計6,587人を達成した。
開所前から現在まで来場者にアンケートを募り、開所当初は、映像の画質などについて厳しいご意見もあったが、映像の内容や投影方法を改善することで、7月以降は大変好評を得ている。新たに360°映像を撮影して自然を体感できる映像の投影に取り組んでいる。

(3)成功したこととその要因

契約書記載の事業内容1～3の事業(体験プログラム)を実施してコロナ禍の中での事業実施ではあったが、2020年以前2015年から2020年の北房エリアでの自然体験への参加人数、6カ年平均56名に対して10か月で体験プログラムへの参加者1,604人、一般来場者4,983人、合計6,587人の入場者を達成できた。
当協会の以前の地内観光地での風景觀賞や体験メニュー、それらをPRするための費用やスタッフ不足で成果が上がらない状況に対して本事業を実施することで環境学習体験、自然体験、食の体験に特化したプログラムということから以前の取り組みや隣接エリアの観光スポットや学習施設と差別化をはかることができ、注目を集めることができた。

(4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。
元々、エリア全体での入込数が100,000人程度という状況下で当施設への一般来場者20,000人という数字を達成できなかったことは、見通しが甘かったと受け止めている。コロナ禍ではあったが、開所からの広報PRについて、もう少し広報費とスタッフの充当が必要であった。ネット(SNS)でのPRが不足していた。

(5)事業内容詳細

上記「(2)事業完了時の事業内容(実績)」の詳細について、ご記載ください。別途報告書を作成されている場合は、それを添付いただければ省略可能です。
事業完了時の事業内容(実績)の詳細は別途添付

(1)助成契約書記載の目標

助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の目標欄の内容を転記してください。

① 小中高のクラス学習体験や児童クラブ、大学ゼミなど約40人
(大型バス1台分×年間30団体)1200人
一般来場者数 20,000人
(5月末～7月初旬のホタルシーズンの例年の来場者数約30,000人の内
10,000人、通年の北房エリアへの入込数約100,000人のうち10,000人が来場することを見込みます)
合計21,200人の来場者数を目指します。施設入場受付数で確認、前年との差で比較します。

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	263	文字数チェック	OK
施設への入場者、参加者数			
団体体験学習参加者小計	1,604人		
一般入場者小計	4,983人	合計6,587人	
協力、連携イベント施設外開催の来場者			
HOTARUFes	約1,000人		
北房コスモス祭り	約5,000人		
北房イルミネーション12月～2月	延べ約20,000人		
北房ぶり市	約30,000人		

3.事業実施によって得られた成果

事業完了後、事業成果が実現するまでにある程度の時間を要する場合、実現すると見込まれる事業成果は「****年**月頃に*****が*****になっていると見込まれる」のかを記載して下さい。
複数年計画がある場合、複数年計画の「****年**月頃に*****が*****になっていることを目指す」のかを、最終目標(中長期目標)として記載して下さい。
施設や機器整備した場合、整備した数年後に見込まれる成果(例えば2年後、3年後)を設定し、「****年**月頃に*****が*****になっていると見込まれる」かを、中長期目標として記載して下さい。
1年目 2021年3月～2022年3月実施 準備事業としてハード事業と合わせて実施 海洋教育プログラムの開発として体験プログラムを7回実施、教育プログラムを2回実施、エコイベントに1回出展・協力という成果から 2年目 2022年4月から2023年3月実施 拠点施設を6月に開所してから施設への入場者、参加者数
団体体験学習参加者小計1,604人 一般入場者小計4,983人 合計6,587人 という成果となった。コロナ禍での2年目の事業実施で得られた成果をもとに、3年目2023年4月から2024年3月まで事業を行う目標として2年目に達成できなかった20,000人の入場者数を目指す。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

真庭市北房エリアへの入込数約100,000人に対する当施設への入場者数20,000人を目標に掲げるのは見通しが甘かったといわざるを得ない。2022年度に来場された方からのアンケートや評判は、概ね良いのでSNSでのPRなど広報の拡充や関連団体などへのアプローチ、価値のある注目されるプログラムを加えて入場者数の拡大を目指す。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

助成契約書記載の成果物名称を転記してください。
1、事業報告(個人情報に配慮した上で一般社団法人北房観光協会ホームページに掲載)2、イベント等、開催報告および写真(個人情報に配慮した上で一般社団法人北房観光協会ホームページ掲載)



(2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載してください。
※チラシ、ポスター等の印刷物については作成枚数を追記いただけますようお願いいたします。
1、2022年度渚の交番プロジェクト(岡山・真庭)完了報告書
2 2022年度渚の交番(岡山・真庭2年目)事業内容(実績)詳細 3 しんぴお体験動画アドレス Youtube
<https://youtu.be/eEMP1wndcZs>
4 里山里海交流館しんぴおホームページ
<https://www.shinpio.com/>
5 里山里海交流館しんぴおFacebookページ
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100086049587792>
6 一般社団法人北房観光協会ホームページ
<https://www.hokubo.com/>
7 一般社団法人北房観光協会Facebookページ
<https://www.facebook.com/hokubokanko>

(1)助成契約書記載の成果物名称

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。
契約書記載の
2、イベント等、開催報告および写真については2022年度渚の交番(岡山・真庭2年目)事業内容(実績)詳細を成果物とする。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)
上記で登録したURLをご記載ください。 <https://fields.canpan.info/report/detail/28580>